

令和6年6月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和6年6月27日（木）

開会 午前9時30分 閉会 午前10時53分

2 場 所

市役所西館 大会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 荒牧委員 白木原委員 吉田委員 永野委員 梶原委員

欠席者 飯盛委員

4 会議出席職員

田中教育部長 秀島学校教育担当部長 西教育総務課長 於保保育幼稚園課長 空閑生涯学習課長 田久保文化課長 嘉村教育総務課副課長 南里保育幼稚園課副課長 土井教育総務課庶務係長

5 傍聴者

0名

6 教育長の報告事項

- ・間もなく令和6年の折り返しとなる。この時期は天候が気になる時期で、今年は梅雨入りが例年よりも遅かった。猛暑、酷暑や大雨など心配をしている。先日、今年度の学校訪問がスタートした。今年は国スポが開催されるため、1学期にも連日予定されているが、教育委員の皆様方のご出席をお願いすることになる。毎日学校訪問が続くが、ご協力をお願いしたい。
- ・6月29日、30日に小城・多久地区中体連が開催され、その1箇月後には県の中体連、九州北部で高校総体が開催される。今年はオリンピック、国スポも開催されることから、スポーツで元気になる時期が近付いてきたことを実感している。
- ・毎日、教育関係の新聞記事の情報収集をしているが、その中で気になるのがいじめや不登校の記事。全国的に増加傾向にあり、これはいじめに対する認知の高まりやコロナの影響も否めない。いじめは学校だけの問題ではなく、社会全体で取り組む必要があり、子どもだけでなく大人の社会でも同様の問題が起きている。こども家庭庁の発足により取組も進んでいるが、命や人権を考えるためには子どもと大人が協力して取り組む必要があり、社会全体での対応が必要とされている。また、わいせつ事案やほかの重大事案が増加しているという報道も多く取り上げられている。このような状況で教育の中での取組が重要であり、教育の役割や重要性を再認識した。
- ・23年前の6月8日に大阪の池田小学校の児童殺傷事件が起きた。「学校の安全」と「命の大切さ」について改めて振り返るときだと思う。学校の安全管理については、改めて取り組まなければいけない。6月9日は「小城市教育の日」でフリー参観デーだった。多くの保護者や地域の方が学校足を運んでいただいた。コロナ禍を経験した中で、授業参観や様々な学校行事が行われておりフリー参観デーが有効に活用されているが、引き続き開かれた学校ということも視野に入れながら、適切な管理については地域と学校が連携し、安全な学校環境を維持しつつ、子どもたちや先生方の様子を見ていただければと思っている。
- ・毎年開催される津の里ミュージアムが今年も開講され、今年は2コース、年間9回活動すると

ということでスタートした。以前は5、6コースあったが、スタッフの減少により現在は2コースで活動しており、1つのコースには20名が参加している。今年は小城高校の生徒たちも参加し、学校教育から離れた場での体験を通じて「生きる力」を育む活動に取り組んでいる。地域の方々や子どもたちが今後も協力し合い、継続して活動していくことを期待している。学校教育とは異なる体験活動はとても重要なので、引き続きミュージアムの活動を支援していきたい。

- ・ 6月20日の定例校長会で、校長先生方に4、5、6月の振り返り、現状の把握、今後についての話をした。まず、1点目にコロナ禍を経験した今の小学生、中学生は経験不足、体験不足の子どもたちが多く、人間関係のスキルが不足していることが問題で、そこを念頭に置いておかなければならない。このような状況がいじめや問題行動などに影響を与えている可能性がある。子どもたちに適切な体験を積み重ね、問題が起きた際には迅速かつ適切な支援が必要である。2点目に学校の安全管理の問題。施設整備を含めた安全点検を確実に行うこと、また子どもたち自身も自らの安全を守る事への教育も発達段階に応じてやるべきだと思っている。3点目に平和教育について、これから広島、長崎の原爆投下の日、終戦の日を迎える。各学校、各地域の中で終戦79年という節目の時に命の教育や平和教育の啓発をしていかなければならない。最後の4点目に、自然災害について毎年ではないが2017年から台風や大雨などにより臨時休校することがある。このような状況が続くということは、今年も準備しておかなければならないということである。市の対策本部と教育委員会と学校と情報共有を行い連携しながら、対応しなければならない。以上のことを中心に話をし、1学期のまとめをしている状況である。
- ・ 6月3日 全体朝礼、第2回市議会定例会開会
- ・ 6月4日 経営戦略会議
- ・ 6月5日 小城市人権・同和教育研究会総会、東部管内定例教育長会（オンライン）、新入学児童図書カード贈呈式（小城ロータリークラブ）
- ・ 6月6日 佐賀県市町教育委員会連合会役員会
- ・ 6月9日 「小城市教育の日」フリー参観デー
- ・ 6月10、13、14、17日 市議会一般質問
- ・ 6月15日 津の里ミュージアム開講式
- ・ 6月18日 市議会議案質疑
- ・ 6月20日 定例校長会
- ・ 6月21日 中林梧竹記念館協議会①、小城市歴史資料館協議会①
- ・ 6月23日 第14回小城市ふれあい芸能祭り
- ・ 6月25日 文教厚生常任委員会
- ・ 6月26日 三日月小学校訪問（市）、土生遺跡調査委員会
- ・ 6月27日 定例教育委員会、令和5年度事業評価会議
（以下予定）
- ・ 6月28日 第2回市議会定例会閉会、小城市いじめ問題対策連絡協議会
- ・ 6月29日～30日 小城・多久地区中学校総合体育大会
- ・ 7月2日 三日月中学校訪問（市）
- ・ 7月3日 岩松小学校訪問（東部）
- ・ 7月5日 三里小学校訪問（東部）、佐賀県教育委員会連合会総会・研修会

【質問・意見】

◇F委員

池田小学校の事件があった当時、不審者侵入対策ということで、校門のところの門扉を閉めるようにという指導があつて、今現在も多くの学校で門扉を登下校時以外は閉められていると思っているが、小城市内の学校についての現状がどういうふうになっているか教えていただきたい。

◇教育長

門扉については、登下校時以外は閉められており、この状況は今後も変わらないと思う。今後の問題としては、外部侵入者防止をどうするかということ。人を配置するのか防犯カメラを設置するのか、対策を考えていかなければならない。青少健で行われている見守り等も、この地域は、地域の目があるということで抑止にもつながっているので、そういった取組も続けていかなければならない。

また、不審者対応の避難訓練等は実施をしている。もし事態が起きた場合の対応として、発達段階に応じた対応、自分の身を守るということの防犯教育は進めていかなければいけないと思っている。

【結果】

承認

7 議 事

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

【質問・意見】

なし

【結果】

承認

【議案第3号】

小城市放課後児童健全育成事業実施規則の一部を改正する規則

◇教育総務課長が説明

提案理由は、小城市放課後児童クラブの定員を変更するため、規則の一部を改正する必要があったため。

改正内容は、別表第1、桜岡第1放課後児童クラブと桜岡第2放課後児童クラブの定員とともに「40人」から「45人」に、岩松第2放課後児童クラブの定員を「20人」から「50人」に変更するもの。

今回の変更は、各児童クラブの面積を考慮して最大限児童の受入れを行い、待機児童をできる限り解消するための変更である。

【質問・意見】

◇E委員

岩松第2放課後児童クラブの「20人」が「50人」になったのは、場所的に受入れ可能な面積があったのかということと、実際、何人ぐらいの子どもさんが利用されているのかを教えてください。

◇教育総務課長

岩松小学校の放課後第2児童クラブは、以前は学校の中の2階の多目的室の一角を使用しており、そのときは狭かったため、定員20人としていた。

しかし、現在は第1児童クラブと同じ通常の教室を利用させていただいているので、面積的には以前より広がっている。定員はそのまま20人で定めていたが、今後の定員増や夏休みの受入れのために、第1児童クラブと同様の受入れ人数「50人」に変更する。

現在の人数は、後で報告する。

◇F委員

小城市の放課後児童クラブは各学校によってであるが第1、第2とたくさんの児童クラブが

あるが、それぞれの今の利用者の数を教えていただきたい。

また、各学校の児童全体に対する放課後児童クラブの利用率を教えていただきたい。

それから、ホームページの更新はどういったタイミングで更新をされているのか、教えていただきたい。

◇教育総務課長

児童全体に対する放課後児童クラブの利用率については、後でお知らせしたい。

ホームページの更新は、原則はこういった教育委員会で諮った議案の議決後には変えていくものだと思っているが、今回失念していたので、早急に変更する。

◇教育長

学校のホームページも、昔のものが載っていることがないように、指導していきたい。

放課後児童クラブの5月1日現在の利用者数については、小城市の教育に掲載している。

◇A委員

学校によっては複数の放課後児童クラブがある学校があるが、利用者のクラス分けは学年別に分けられたり異年齢を組み合わせられたりなど、運営の方法はどのようにされているのか。

◇教育総務課長

子どもたちのクラス分けは、実際に現場で保育を担当している支援員が子どもたちの状況を見ながらクラス分けをされており、学年で例えば高学年を第1クラブ、低学年は第2クラブということではなくて、児童の状況を見ながらクラスの振り分けをしている。

◇C委員

定員が「40人」から「45人」に、「20人」から「50人」に増えるということだが、人数が増えた場合と、今までこの放課後児童クラブの中で問題点は報告されているか。

◇教育総務課長

施設については、専用クラブ、学校の教室を使っているなど状況は様々だが、学校によっては普通の理科室より使用頻度が少ない理科室を使わせていただいているクラブもあり、備品等の破損等は十分に気をつけるなど少し気を使うところはあるが、今のところ全クラブ特に問題なく運営をしていただいている。

◇C委員

子ども間のトラブルや事故などの報告はないか。

◇教育総務課長

子ども間のトラブルについては、学校と同様、様々な報告は受けているが、そこは支援員が中に入ってうまく対応していただいている。

事故等は、やはり子どもたちなので、遊んでいるときに転んだとか遊具から少し足を踏み外したとかということで、頻繁ではないが起こっている状況である。

◇C委員

未然に防がれているということだが、今後人数が膨れ上がるということは、事故とかトラブルにつながることもないと想定されるので、支援員の方々も大変だと思うがチェックをお願いしたいと思う。

◇教育長

放課後児童クラブのニーズは高まってきているので、待機をとにかく出さないことを取組の中で入れている。それで、施設整備が必要であれば施設整備をしなければいけない。

しかし支援員の方々が子どもたちを見る状況というのは非常に大変な環境である。異学年が交流したり、元気な子どももいたりするので、支援員からの情報は人間関係、事故報告などもしっかり上げていただいている。この連携というのは当然必要になってくるだろうと思うが支援員の方々の負担もあまりないような状況もつくりたいといけな。委託業者とも協力をしながら引き続き、子どもたちの安全・安心のためにこの放課後児童クラブを運営しなければいけ

ないと思っている。何らかの機会で教育委員の皆様にも見ていただけたらと思っている。

【結果】

承認

8 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

◇教育総務課庶務係長が説明

- ①小城市青少年育成市民会議「子どもの安全を地域で見守る会」後援申請
 - ②佐賀県立生涯学習センター「令和6年度生涯学習関係職員実践講座」共催依頼
 - ③小城市文化連盟「第14回小城市ふれあい芸能祭り」後援申請
 - ④牛津赤れんが会「第3回牛津ジャズフェス」後援申請
 - ⑤九州地区特別支援教育研究連盟「第58回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会(佐賀大会)、第52回九州地区情緒障害教育研究会(佐賀大会)」後援申請
 - ⑥Filer Saga(フィレール佐賀)より、「時間の法則に出会えた奇跡」後援申請
- ※条件付き承認
- ⑦株式会社佐賀新聞社「さがプログラミングアワード2024」後援申請
 - ⑧一般財団法人小城市スポーツ協会「小城市制施行20周年 第37回小城市芦刈ムツゴロウロードレース大会」共催申請
 - ⑨宮城復興支援センター「国際交流&イングリッシュキャンプ」後援申請
 - ⑩小城市勤労者福祉協議会「第6回平和コンサート」後援申請
 - ⑪佐賀子ども劇場「佐賀子ども劇場の鑑賞活動及び自主活動」後援申請
 - ⑫株式会社まちづくり小城「篠笛とピアノで奏でる水の調イン小城」後援申請
- 以上、共催2件、後援10件承認で報告する。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

(2) 令和6年度 小城市学力向上研究会全体研修会について

◇学校教育担当部長が説明

今年度は、7月31日水曜日の13時30分から小城中学校での全体研修会の様子をオンラインで配信し、各学校で視聴する。

今回ご講演をしていただく方は、佐賀大学大学院学校教育学研究科准教授の後藤大二郎先生先で、演題は、「学力の向上を目指す授業デザインの視点」となっている。現学習指導要領においては、主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善が求められている。また、1人1台端末等を活用したICT活用教育の充実も求められており、日々の授業づくりに悩んでいる先生方も多いと思う。そのような先生方にとって、今後の授業づくりに役立つお話が聞けるのではないかとと思っている。

この学力向上研究会全体研修会については、ぜひ教育委員の皆様方もご参加いただき、後藤大二郎先生のご講話を聞いていただきたい。

【質問・意見】

◇A委員

この学力向上研究会全体研修会は、以前は大きな会場で開催されていたと思う。これがコロナの関係でオンライン開催になったと思っていたが、今後もこの形での開催となるのか。

◇学校教育担当部長

全体研修会後に校区単位で小学校、中学校の先生で交流をしたりするような場が設けられているために、今現在もオンライン開催となっている。

◇教育長

以前は集合研修でやっていたが、今後、研修会は負担を軽減して効果的にやる形で実施していくようになると思う。

【結果】

了承

(3) 令和6年度 小城・多久地区中体連関係の大会日程等について

◇学校教育担当部長が説明

第59回小城・多久地区中学校総合体育大会が、6月29日土曜日と30日日曜日に開催される。

競技ごとにトーナメント戦やリーグ戦によって県大会出場校を決定する。どの競技も県大会出場を目指して、すばらしい熱戦が繰り上げられることを期待している。

また、新人大会と駅伝競走大会への期日及び会場も資料に記載しているので、ご確認をお願いしたい。

【質問・意見】

なし

【結果】

了承

(4) 令和6年度 園訪問計画について

◇保育幼稚園課長が説明

例年7月前後に実施をしていたが、今年度は10月と11月に4箇所予定をしている。

詳細は、10月の定例教育委員会のときにご案内をさせていただく。

【質問・意見】

なし

【結果】

承認

9 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 7月25日(木) 午前9時30分から

【場 所】 小城市役所 西館2階 大会議室

10 議 事【非公開】

第1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について(非公開)

【承認】

第2 協議事項

【協議第2号】

就学援助(準要保護)の認定について

【了承】

第3 報告事項

【報告第10号】

就学援助の認定について

【了承】

【報告第11号】

教育委員会事務局職員の復職について	【了承】
【報告第 12 号】	
教育委員会事務局職員の休職について	【了承】
【報告第 13 号】	
教育委員会事務局職員の人事異動について	【了承】